

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成28年3月14日

【四半期会計期間】 第16期 第1四半期(自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)

【会社名】 ベルグアース株式会社

【英訳名】 Berg Earth co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山口 一彦

【本店の所在の場所】 愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1

【電話番号】 0895-20-8231(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部管掌 越智 正勝

【最寄りの連絡場所】 愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1

【電話番号】 0895-20-8231(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部管掌 越智 正勝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期連結 累計期間	第16期 第1四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日	自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日	自 平成26年11月1日 至 平成27年10月31日
売上高 (千円)	422,522	431,649	4,231,829
経常利益又は経常損失() (千円)	198,894	245,212	57,057
親会社株主に帰属する 四半期純損失()又は 親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	132,175	160,975	33,308
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	133,143	192,301	30,035
純資産額 (千円)	1,059,064	1,164,261	1,369,260
総資産額 (千円)	2,826,422	3,473,904	3,995,228
1株当たり四半期純損失金額() 又は1株当たり当期純利益金額 (円)	104.09	126.78	26.23
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	37.2	30.0	30.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、第16期連結累計期間に係る提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期純損失()」を「親会社株主に帰属する四半期純損失()」、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社グループの第1四半期連結累計期間(11月～1月)の業績につきましては、主力製品である野菜苗の需要が全国的に減少する時期であるため、売上高が他の四半期と比較して少額となる傾向にあります。一方、コスト面では、減価償却費や間接部門の人件費等が各四半期に概ね均等に発生することに加え、燃料費等の冬季経費が発生するなど季節的な業績変動要因があります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は431,649千円と前年同四半期と比べ9,127千円(2.2%)の増収となりました。損益面につきましては、営業損失244,099千円(前年同四半期は営業損失198,596千円)、経常損失245,212千円(前年同四半期は経常損失198,894千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は160,975千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失132,175千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

野菜苗生産販売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は362,158千円と前年同四半期と比べ16,635千円(4.8%)の増収となりました。損益面につきましては、連結子会社であるベルグ福島株式会社の生産開始に伴い減価償却費等の製造費用が純増した結果、セグメント損失(営業損失)は132,208千円(前年同四半期はセグメント損失97,669千円)となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
トマト苗	132,479	96.8
キュウリ苗	124,193	108.4
ナス苗	11,196	115.3
スイカ苗	6,429	99.1
メロン苗	68,951	115.2
ピーマン類苗 (注)	1,088	33.4
その他	17,818	120.7
合 計	362,158	104.8

(注) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗(7.5cm～15cm)	167,003	105.8
当社オリジナル(アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ等)	119,255	99.5
セル苗(288穴～72穴)	60,943	105.5
その他	14,959	149.2
合 計	362,158	104.8

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	39,632	101.6
関東	240,919	104.5
中部・甲信越・北陸	35,890	102.9
近畿・中国	18,451	93.7
四国	9,300	83.3
九州・沖縄	17,964	174.9
合 計	362,158	104.8

流通事業

資材部門の売上高は16,199千円(前年同四半期比2.1%増)、農産物部門の売上高は14,862千円(前年同四半期比0.6%増)となったものの、コンビニエンスストア部門において、自動車専用道路開通の影響を受け、交通量の減少により客数が減少した結果、売上高は36,216千円(前年同四半期比19.5%減)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における流通事業の業績は、売上高67,278千円(前年同四半期比11.0%減)、セグメント損失(営業損失)8,882千円(前年同四半期はセグメント損失5,936千円)となりました。

海外事業

当事業部門におきましては、中国山東省にて野菜苗及び花苗の生産、鉢花(シクラメン)の生産、トマト及びアスパラガス等の青果物の生産を中心とした施設園芸を展開しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,213千円(前年同四半期比60.4%増)、セグメント損失(営業損失)8,812千円(前年同四半期はセグメント損失7,454千円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ521,323千円(13.0%)減少の3,473,904千円となりました。これは、有形固定資産の増加332,003千円、現金及び預金の減少535,057千円、受取手形及び売掛金の減少549,982千円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ316,324千円(12.0%)減少の2,309,643千円となりました。これは支払手形及び買掛金の減少314,334千円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ204,998千円(15.0%)減少の1,164,261千円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額は19,418千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第1四半期連結累計期間に完成したものは、次のとおりであります。

会社名(所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資額	資金調達方法	完成年月
ベルグ福島株式会社 (福島県伊達郡川俣町)	野菜苗生産販売事業	生産設備	525,209千円	借入金 補助金	平成27年12月

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,500,000
計	3,500,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年1月31日)	提出日現在発行数(株) (平成28年3月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,269,900	1,269,900	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	1,269,900	1,269,900		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年11月1日～ 平成28年1月31日		1,269,900		331,494		241,494

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年1月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,268,200	12,682	
単元未満株式	普通株式 1,600		
発行済株式総数	1,269,900		
総株主の議決権		12,682	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年10月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成28年1月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ベルグアース株式会社	愛媛県宇和島市津島町北灘甲 88番地1	100		100	0.0
計		100		100	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成27年11月1日から平成28年1月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年11月1日から平成28年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	931,239	396,181
受取手形及び売掛金	2 994,362	2 444,379
商品及び製品	10,056	8,883
仕掛品	64,678	162,768
原材料及び貯蔵品	77,063	105,617
その他	56,816	164,737
貸倒引当金	78	113
流動資産合計	2,134,138	1,282,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	940,904	1,243,123
機械及び装置（純額）	85,325	299,593
土地	477,187	479,224
その他（純額）	200,109	13,590
有形固定資産合計	1,703,527	2,035,531
無形固定資産	36,331	36,532
投資その他の資産	121,231	119,386
固定資産合計	1,861,090	2,191,450
資産合計	3,995,228	3,473,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 640,936	2 326,601
短期借入金	1 300,000	1 348,700
1年内返済予定の長期借入金	217,960	220,244
未払金	152,094	175,583
未払法人税等	10,320	2,539
賞与引当金	45,900	22,355
その他	280,511	257,848
流動負債合計	1,647,723	1,353,872
固定負債		
長期借入金	907,171	848,345
資産除去債務	41,219	70,734
その他	29,853	36,691
固定負債合計	978,245	955,771
負債合計	2,625,968	2,309,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	241,494	241,494
利益剰余金	638,972	465,299
自己株式	204	204
株主資本合計	1,211,756	1,038,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,681	2,636
為替換算調整勘定	611	260
その他の包括利益累計額合計	5,292	2,896
非支配株主持分	152,211	123,281
純資産合計	1,369,260	1,164,261
負債純資産合計	3,995,228	3,473,904

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
売上高	422,522	431,649
売上原価	412,015	448,106
売上総利益又は売上総損失()	10,507	16,456
販売費及び一般管理費	209,104	227,642
営業損失()	198,596	244,099
営業外収益		
受取利息	86	4
受取配当金	50	60
受取手数料	1,631	1,299
貸倒引当金戻入額	584	-
その他	1,697	1,309
営業外収益合計	4,050	2,673
営業外費用		
支払利息	1,361	1,368
持分法による投資損失	2,665	2,406
その他	321	11
営業外費用合計	4,348	3,787
経常損失()	198,894	245,212
税金等調整前四半期純損失()	198,894	245,212
法人税、住民税及び事業税	475	512
法人税等調整額	64,296	55,965
法人税等合計	63,820	55,453
四半期純損失()	135,074	189,759
非支配株主に帰属する四半期純損失()	2,898	28,783
親会社株主に帰属する四半期純損失()	132,175	160,975

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
四半期純損失()	135,074	189,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,247	2,044
為替換算調整勘定	683	497
その他の包括利益合計	1,930	2,542
四半期包括利益	133,143	192,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,501	163,478
非支配株主に係る四半期包括利益	2,642	28,822

【注記事項】

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。当第1四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入金の未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
当座貸越極度額の総額	700,000千円	700,000千円
借入実行残高	300,000千円	300,000千円
差引額	400,000千円	400,000千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
受取手形	21,306千円	71,000千円
支払手形	58,145千円	36,269千円

3 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
ファンガーデン株式会社	30,000千円	40,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)

当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は、主力製品である野菜苗の需要が全国的に減少するため、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく減少する傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
減価償却費	37,156千円	47,561千円
のれんの償却額	595千円	-千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年1月29日 定時株主総会	普通株式	12,698	10.00	平成26年10月31日	平成27年1月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年1月28日 定時株主総会	普通株式	12,697	10.00	平成27年10月31日	平成28年1月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	野菜苗生産 販売事業	流通事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	345,523	75,619	1,380	422,522	-	422,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,187	-	-	1,187	1,187	-
計	346,710	75,619	1,380	423,710	1,187	422,522
セグメント損失()	97,669	5,936	7,454	111,059	87,537	198,596

(注) 1. セグメント損失()の調整額 87,537千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	野菜苗生産 販売事業	流通事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	362,158	67,278	2,213	431,649	-	431,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,853	2,529	1,147	5,530	5,530	-
計	364,012	69,807	3,360	437,180	5,530	431,649
セグメント損失()	132,208	8,882	8,812	149,903	94,195	244,099

(注) 1. セグメント損失()の調整額 94,195千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
1株当たり四半期純損失金額()	104円9銭	126円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	132,175	160,975
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額()(千円)	132,175	160,975
普通株式の期中平均株式数(株)	1,269,836	1,269,756

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年3月11日

ベルグアース株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	目 細	実	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	千 原	徹 也	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているベルグアース株式会社の平成27年11月1日から平成28年10月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成27年11月1日から平成28年1月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年11月1日から平成28年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ベルグアース株式会社及び連結子会社の平成28年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。